

「スポーツ推進課」を設置しました

嘉麻市スポーツ推進計画の推進にあたり、新たに「スポーツ推進課」が設置されました。スポーツ推進課では、「プロジェクトK」による運動とスポーツを通じた人材育成を目指す取り組みを行っています。



嘉麻市スポーツ推進計画の策定

市では平成23年8月に施行されたスポーツ基本法に基づき、市の附属機関である嘉麻市スポーツ推進審議会での調査、審議を経て、平成26年3月、嘉麻市スポーツ推進計画（以下、計画と言う。）が策定されました。

市民誰もがスポーツや運動を通して明るく、健康に充実した生活を送ることができるよう、まちづくりを推進するための

6月に「スポーツ推進課」を設置

計画の推進にあたり、新たに「スポーツ推進課」が設置されました。今年の6月議会での新市長施政方針においても、プロジェクトKの推進は最重点課題となっており、課が果たすべき役割はいっそう大きくなったと言えます。

現在、スポーツ推進課には2つの係があり、次に示した方向性をもって、計画の推進を行っています。

○ プロジェクトK・スポー

計画であり、その根幹にあるのがプロジェクトK（嘉麻市モデル）です。

これは、運動とスポーツを通じた地域の活性化と人材育成を目指した取り組みを指します。

また、計画には基本目標として4つの柱があり、その実現に向けてさまざまな角度からアプローチしていきます。

1 スポーツによる地域の活性化

2 スポーツ環境の整備

3 生涯スポーツの推進

4 競技スポーツの推進

プロジェクトK取り組みの経過

- 【平成22年度】
 - ・試験的に鴨生保育所において運動指導を開始
 - ・山野保育所において運動指導を開始
 - ・確井保育所において体験運動指導を実施
 - ・研修会開催（荒木教授）
- 【平成23年度】
 - ・公立保育所全5カ所において、月2回の運動指導を開始
 - ・嘉麻市モデル検討会を実施（荒木教授）
- 【平成24年度】
 - ・子ども育成課とNPO法人クラブKが保育所運動指導についての業務委託を締結し、月3回の年少・年長児のトレーニング指導を開始
- 【平成25年度】
 - ・私立保育園6園においてN

推進係

プロジェクトKの推進による地域コミュニティづくりと地域の活性化等

○ 施設管理運営係

スポーツ大会、合宿等誘致による交流人口の増加及び地域の活性化等

- ・P.O法人クラブKによるトレーニング指導を開始
 - ・大隈小学校1年生に月1、2回、2、3、6年生に年5回の運動指導を実施
 - ・牛隈小学校1年生に年5回の運動指導を実施
 - ・嘉麻市PTA連合会研修会を開催（荒木教授）
 - ・高齢者コーディネーション研修会を開催（荒木教授）
 - 【平成26年度】
 - ・私立幼稚園2園が導入を申請
 - ・私立幼稚園において出前講座を実施
 - ・市内就学前児童の約8割がコーディネーショントレーニングを実践
- 問合せ先／スポーツ推進課
- ☎ 57・4850



○ 荒木 秀夫（あらきひでお）
プロフィール
徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 教授。
運動生理学を専門として、脳科学を基盤にした運動と行動の制御を研究テーマとしている。実践的には、スポーツ・子どもの発達・学習問題などと関係する脳の刺激感受性の向上を目的としたコーディネーション理論によるトレーニング・学習の普及に取り組んでいる。



小学校体育実技研修会開催

7月31日、嘉穂小学校で市教育センター主催による平成26年度小学校体育実技研修会が開催されました。

研修会では徳島大学大学院教授の荒木秀夫氏を講師に迎えて、コーディネーショントレーニングの講話や実技指導が行われ、市内小学校の体育主任や1、2年生担任の教師、市内の保育士など約80人が参加しました。

また平成25年度に大隈小学校で実践されたコーディネーショントレーニングを取り入れた体力向上の取り組みの発表が行われました。

参加した教師からは、「音楽に合わせて楽しく体づくりができるコーディネーション運動を学校体育等の中で取り入れていきたい。思いやりの気持ちやしっかり座って話を聞くことなど育てることができるのであればぜひ取り入れていきたい」、「学校のカリキュラム（年間指導計画）にどのように取り入れるのかなど検討することが必要ではないか。学期に1、2回程度の導入でも効果的なのか、準備運動等に効果的なトレーニングがあるのかなど教えてほしい」などの感想が寄せられていました。

今後、市スポーツ推進課プロジェクトK・スポーツ推進係では市内の小・中・高等学校への導入に向け、市教育センターと連携して調査・検討を図ります。

嘉穂小学校金澤貴子先生の実践発表

～平成25年度に大隈小学校1年生で実践した
コーディネーショントレーニング
を取り入れた体力向上の取組について～



小学校に入学したばかりの1年生が「話が聞けない」「椅子に座れない」「ルールを守れない」など学校生活になじめない状態が続くことを「小1プロブレム」と言いますが、昨年度に担任した大隈小学校の1年生は「話を集中して聞くことができる」「椅子にしっかり座ることができる」といった子ども達が多く見られました。反復横とびやボール投げなど8種目の新体力テストの結果を見ても、1年生26人の平均がすべての種目で福岡県平均を上回っていました。

注目したのは、26人中8人の子ども達が就学前に「コーディネーショントレーニング」を受けていたこと。この「コーディネーショントレーニング」を子どもたちの学習に取り組むための土台づくりに効果的だと考え導入することにしました。

「コーディネーショントレーニング」の内容が小学校学習指導要領体育科の「体づくり運動」の「体ほぐしの運動」に合致することに目を付け、教育課程への位置づけを明らかにして大隈小学校全学年に取り入れました。45分を1単位として学期に1単位か2単位、1年生については月に1単位か2単位を継続して実施しました。

成果としては、学校生活の中で相手を思いやる気持ちが育まれてきたこと、落ち着いて話を聞くことができるようになったこと、さらに、体力の向上が図られたことなどが挙げられます。今年4月の学力テストの結果でも全国平均の50ポイントを大きく上回り、学力の向上にも繋がっていると考えられます。

今後は、日常的な体育の授業の中にどのように取り入れるかが課題です。

